

※解答はすべて解答用紙に記入すること。問題用紙は持ち帰ること。

問一 つぎの設問①～⑮に答えよ。

- ① 上代特殊仮名遣を最初に発見したのは誰か。
- ② 上代において同一語根内では甲類才列音と乙類才列音は交じって現れない母音調和のような現象が見られる。これを何法則というか。
- ③ 上代特殊仮名遣の違いが見られる仮名（濁音を除く）十二個を授業中に唱えたとおりに平仮名で記せ。
- ④ 万葉仮名を用いて「加微」と記したとき、その意味する漢字を一文字で記せ。
- ⑤ 完了の助動詞「り」が四段動詞には命令形接続と断定できる理由を簡潔に説明せよ。
- ⑥ 『今昔物語集』の最古の写本は漢字片仮名交じり文である。なぜ、漢字平仮名交じり文ではないのか。漢字と片仮名の親和性について簡潔に答えよ。
- ⑦ 濁点のもととなったアクセントを示すために付けられた注を何点というか。
- ⑧ 漢文を訓読するために漢字の字面の四隅や周辺につけた記号を何点というか。
- ⑨ 平仮名と片仮名の字母の用い方の違いを「平仮名は字母の○○を用い、片仮名は字母の○○を用いる。」の形式で簡潔に述べよ。
- ⑩ 片仮名「テ」の字母となった漢字一文字を書け。
- ⑪ 同様の部分をもつ平仮名「け」と「は」の二画目は字母では異なる部首である。「○と○」の形式で答えよ。
- ⑫ 近代に鉛筆が導入されるまで用いられた紙に棒を押しつけて書く墨つぎの不要な筆記具を何というか。
- ⑬ 平仮名が中古において文字として公式に認められたのは何という書物によってか。
- ⑭ いろは歌の二十五番目の仮名を書け。
- ⑮ 「蟋蟀」を「シツシユツのきりぎりす」のように読む読み方を何というか。

問二 いわゆる神代文字が上代以前の文字ではないと断定できるのはなぜか。その理由を説明せよ。